鎌倉幕府と執権政治

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

旧石器　縄文　弥生　古墳　飛鳥　奈良　平安　**鎌倉**　室町

今日の問い

鎌倉幕府は、将軍と御家人をどう結びつけ、どのように力を広げたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 源頼朝と鎌倉幕府

幕府のしくみ

2 国ごとに置かれ、軍事・警察の仕事をした役職。

3 荘園や公領に置かれ、年貢の取り立てなどを行った役職。

6 将軍に従い、御恩と奉公の関係で結ばれた武士。

平氏をたおした ＿＿(1)＿＿ は、1185年、国ごとに軍事・警察を担う ＿＿(2)＿＿ を、荘園や公領ごとに年貢の取り立てなどを行う ＿＿(3)＿＿ を置くことを朝廷に認めさせ、1192年には ＿＿(4)＿＿ に任命された。鎌倉を本拠とするこの武士の政権を ＿＿(5)＿＿ という。

幕府は、将軍に従う武士である ＿＿(6)＿＿ に支えられていた。将軍は御家人の領地を保障し、手がらに応じて新しい領地を与える ＿＿(7)＿＿ をほどこし、御家人は京都や鎌倉の警備や、戦いのときに命をかけて戦う ＿＿(8)＿＿ をつとめた。土地を仲立ちとしたこの関係を封建制度という。

関係	内容
(7) ＿＿＿＿ 将軍 → 御家人	御家人の領地を保障し、手がらに応じて新しい領地を与える
(8) ＿＿＿＿ 御家人 → 将軍	京都や鎌倉の警備にあたり、戦いが起これば命をかけて戦う

2 執権政治と承久の乱

幕府の政治

10 将軍を補佐して政治の実権をにぎった地位。北条氏が代々ついた。

12 1221年、後鳥羽上皇が幕府をたおそうと兵を挙げた争い。

9 源頼朝の妻。承久の乱で御家人に結束をよびかけた。

15 1232年、北条泰時が定めた、武士のための最初の法律。

頼朝の死後、頼朝の妻 ＿＿(9)＿＿ の父である北条時政が、将軍を補佐する ＿＿(10)＿＿ という地位について実権をにぎった。源氏の将軍が3代で絶えた後も、執権の地位は ＿＿(11)＿＿ が代々受け継いで政治を動かした。これを執権政治という。

1221年、朝廷の力を取り戻そうとした後鳥羽上皇（ごとばじょうこう）が兵を挙げたが（ ＿＿(12)＿＿ ）、北条政子のよびかけで結束した幕府方が勝った。幕府は京都に ＿＿(13)＿＿ を置いて朝廷を監視し、上皇方の土地に東国の御家人を地頭として置いたので、幕府の力は西国にまで広がった。1232年、執権の ＿＿(14)＿＿ は、武士のための最初の法律である ＿＿(15)＿＿ を定めた。

できた ＿＿＿＿ / 15

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。